



AEFA

フレンド会報

日本財団
The Nippon Foundation

助成事業

第8号

NPO法人 アジア教育友好協会
Asian Education and Friendship Association
本部:〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F
TEL 03(6426)0720/FAX 03(6426)0721
Email:tokyo@nippon-aefa.org

発行日
2009年1月20日



原に集中して小学校を建設する基本方針を固めました。今後4年間で80校、通算100校建設を目指します。

中部高原はベトナム戦争中、最後まで残った激戦地です。そこに住む山岳少数民族は、政治的な事情も絡み、戦後33年を経た現在でも、ベトナムで経済的に最も立ち遅れた状況の中で生活しています。

中南部高原5省中の最貧地域であるコントゥム省の学校では、子供達は雨漏りするトタン屋根・板葺屋根、床は土、半分壊れた机イス、ドアも窓もない古びた掘つ立て小屋で勉強していました。セダン族100%のトモロン郡では、新しい校舎に移った子供達の明るい笑顔とはじける元気が、

AEFAは2005年1月、日本財團の全面支援で事業を開始して以来、4年間で56校の小学校を建設しました。内訳は、日本財團46校、他支援者10校です。2008年度はベトナム中部高原で、集中的に12校を建設し、ベトナム政府関係から高い評価を得ました。これを受け、日本財團は本年度からは、中部高

原に集中して小学校を建設する基本方針を固めました。今後4年間で80校、通算100校建設を目指します。

AEFAは、外向きの活動に忙し過ぎて、組織の強化や会員同士の横のつながりの拡大・深化に充分手が回りませんでした。

09年度目標、ベトナム・ラオスに20校を建設 ～日本財團はベトナム・中部高原に15校集中支援～

与えてくれました。

友の会事業の躍進

AEFAの三階建て事業理念は、本格的に浸透し始めています。日本財團助成金以外の資金で推進する事業を「友の会事業」と位置づけています。10校建設しましたが、特に交流事業の躍進には著しいものがあります。

主なものとしては、出前授業があります。特に海外NGOの現場責任者を日本へ招待して行った出前授業は、20校に及び大好評でした。また、新しい支援者による現地支援が「物作り」ではなく、「人作り」と発展してきています。具体的には、ラオス・パチュドン小学校の寄宿生のための米支援、ベトナム・タンホア小学生に対する奨学金、ラオスでの教師のスキルアップ研修、ラオスやタイのアシスタント教師の給与補充資金などです。

会員の皆様の参加意識の向上のため、色んな企画にも挑戦したいと思っていまます。本年度から個人会員会費を500円にしましたが、その代わり会員の特典の充実を図ろうと考えています。会員同士の集まりの企画、会員参加の現地視察なども企画したいと思っています。事業実績に比して、個人・法人会員の数は極めて少なく、組織も脆弱です。

AEFAは、外向きの活動に忙し過ぎて、組織の強化や会員同士の横のつながりの拡大・深化に充分手が回りませんでした。

AEFA会員組織の強化が課題

これまでのAE

ひとこと
子供の目線と夢
子供が創る夢の学校

◆第3回AEFAフォーラム開催◆ 国際交流で学びを深める ～フレンドシップ交流を核として～



第3回AEFAフォーラムを《国際交流で何を学ぶか》をテーマに、フレンドシップ校の先生方、支援者、ボランティアの方々78名のご出席をいただき、平成20年10月25日、開催しました。

- ・基調講演：外務省NGO担当大使・五月女光弘氏
 - ・第1部：交流事例報告(ベトナム・タイ・ラオスの提携NGOの現地責任者4名と日本のフレンドシップ交流校3校)
 - ・第2部：グループディスカッション(出席者全員がグループ別に討議後、要旨を発表) また、今回から設けた「AEFA交流大賞」を出席者の互選により選出後、懇親会へ。熱気あふれるフォーラムは和やかな雰囲気のもと盛会のうちに終わりました。
- (五月女大使の講演要旨をはじめ、フォーラムの内容は、P4~P7、及びP13をご覧ください。)

AEFAの3階建理念



AEFAの3階建理念
ひとこと
子供の目線と夢
子供が創る夢の学校

AEFAは、2004年6月の設立以来、一貫して「子供の目線で考える」を常に意識しながら、学校建設事業と国際交流事業を推進してきました。子供達が本当にこの事業の中心にいるのか、支援者の自己満足になつてはいないか、と自らへの問いかけも忘れませんでした。

そうした中で暖めてきたのが「子供達の資金で創る夢の学校建設構想です。現在作っている学校は大人の資金です。これを、子供達1万人が自分で稼いだ500円(ワンコイン)を寄附することで学校を作ろう」という企画です。子供達のアイデアを生かした建設企画をもとに建設し、出来上がった学校の壁には寄附した1万人の子供達の名前を刻んだ銘板をはめ込みたいと思います。一朝一夕では出来ない難しい企画ですが、今年こそはスターさせたいと思います。

(理事長 谷川 洋)

●第1部：フレンドシップ交流校の報告●



東京都品川区立立会小学校から

●酒井美紀先生の報告

るが実現に近づいている。

〈初年度の取り組み〉①全校朝会で紹介／日本からの距離、あいさつ、国旗、人口など子ども達が調べたことを発表し、またベトナムの友だちからの手紙を紹介し、その感想を発表した。②AEFAスタッフによる集会／代表委員会の子ども達と一緒にAEFA金子さんから、民族衣装の紹介、朝ごはん休み時間の遊び、あいさつ、タムホアの子ども達の暮らしなどのお話をうかがった。

〈日頃の取り組み〉①手紙を書く／相手を決めて手紙を書く。また、AEFAからの「質問カード」「紹介カード」で自分の家のことや生活時間のことなどを伝えた。

②新聞づくり／学校生活や日本のこと(さくら・富士山など)を紹介する新聞を作成して送る。

〈活動のまとめ〉全校児童に広がるにはまだ時間がかかるが、交流に直接携わる子ども達は、ベトナムからの返事を心待ちにし、ベトナムに興味も向いてきている。また、初めてタムホアの映像を見たときの感想と現在では、ベトナムの印象も変わってきてている。手紙の交換を通して、「彼らは幸せそうだね」とか「いろいろなことに前向きだね」というつぶやきも聞こえてくる。交流に望んでいたことに少しずつではあるが、近づいており、今後も有意義な活動ができるようにしたい。

●第1部：現地NGOスタッフの報告●



●ランさんの報告

ベトナムから／厳しい教育環境

ホアンさんの報告
ホアンさんはベトナ
部（メコンデルタ）で活

A black and white photograph of a woman with dark hair, wearing a white lab coat over a light-colored collared shirt. She is holding a microphone in her right hand and appears to be speaking or presenting. The background is slightly blurred, showing what might be laboratory equipment or office furniture.

タイから
学校建設後も運営支援

ウドムさんの報道

A photograph of a man with short dark hair, wearing a light blue button-down shirt and grey trousers, standing and speaking into a black microphone. He is gesturing with his right hand. The background is a plain, light-colored wall.

静岡英和文学部高校かう

佐野容子先生の報告

●佐野容子先生の報告

「自分を愛するように
隣人を愛せ」の精神に基
づき、タイへのボランティ
ア・ツアーを3年間実施。
意義ある体験が得られた。

〈環境保全ボランティア〉AEFAの協力を得て、ラックス・タイ財団が注力している環境保全の分野を中心
に、ファイヤー村でボランティア活動を開催した。

乾季でも十分な水を確保できる「チエックダム」を
造る、森を浄化する作用のある木に名札(カレン語・
タイ語・日本語)をつける、プラスチック製品は自然に
還ると思っている住民のために「ごみ分別の小屋」を
設置。他にも、カレン族の子ども達に日本の文化を紹
介、日本語とカレン語を教えあつたり、また生徒によ
る授業を行い、カレン族の伝統文化を体験するなど、
多岐にわたる活動を行つた。

〈ツアーワーク〉左記のように実りあるツアーワークとなつた。

- ・カレン族の人々に会えた
- ・自分達の生活を振り返る機会となつた
- ・エイズプログラムの取組みを知る機会を持てた
- ・環境問題も自らの問題として考えることができた
- ・将来の学習・進路を国際関係、タイをテーマにす
る生徒も出てきた
- ・日本の良きものを見直すことができた
- ・プレゼンテーション能力や創造力、積極性がついた

武藏村山市立第ノ小学校から

●小野江隆校長先生の報告

● 小野江隆校長先生の報告
ラオス・パチュドン小学校と絵手紙・カボチャプロジェクトによる出前授業など多彩な交流を続いている。

● ヴィラソーンさんの報告

A photograph of a man with dark hair, wearing a beige blazer over a dark shirt, holding a white document and speaking into a microphone. He appears to be giving a speech or presentation. The background shows a window with blinds.

学校を建設することは、そこに学ぶ子ども達が明日への夢を育むこと、それがAEFAのめざすところです。貧しい環境にもかかわらず、明るく、たくましく、なによりも学ぶ

ことに眼を輝かせる子ども達。その姿は日本の子どもたちに、何らかの“気づき”を確かに与えてくれる…その願いと期待を込めて、AEFAは『出前授業』を行っていきます。

AEFAの特徴…出前授業を37校で実施

●2008.7.5～7.13 ● 特別国際理解授業・I ~ラオスNGOスタッフを招いて~

ニヤイさん



ロシアに留学後、「VF」にプロジェクトマネージャーとして参加。専門は保健衛生・教育・青少年リーダー育成。ノンさんと共にラオス南部サラワーン県を中心に貧困の生活改善に尽力。

ノンさん



医師。国際NGO「VF」のラオス責任者として、山村僻地の地域医療、生活改善運動に邁進。「ノーベル平和賞に1000人の女性を」(2005年)プロジェクトにノミネートされる。

7.10 東京都目黒区立下目黒小学校



感謝のアーチでお見送り

7.11 東京都品川区立松島小学校



ニヤイさんに歓迎のレイ

7.11 東京都江東区立毛利小学校



ラオスのTシャツを贈呈

長野篠ノ井LC、ノンさん、ニヤイさんを歓迎

交流会で2人は温かく迎えられ、初対面と思えないほど笑いの絶えない楽しいひとときでした。



7.7 静岡県函南町立桑村小学校



児童とふれあう石原理事

「ようこそ、先輩!」…同校は石原AEFA理事の母校。ラオス・イルン小学校(石原理事の建設支援校)の児童たちの様子を紹介しました。「桑村の子ども達は生き生きして楽しそうな姿が印象的」とニヤイさんの感想。

7.7 東京都武蔵村山市立第八小学校



ノンさんを花のアーチで歓迎

ノンさんが花のアーチで歓迎を受けて入場。ラオス・パチュドン小学校で、学校へ行く前に朝早くから畑仕事や朝食作りをする子どもの映像に感心したり、ラオスのじゃんけんで盛りあがりました。

7.8 長野市立通明小学校



ノンさん、ニヤイさんがラオスのダンスを披露

ラオスを視察された前PTA会長の大塚氏がトンコー小学校の様子を紹介。ラオスのうさぎのダンスと一緒に踊ったり、「有名な食べものはなんですか?」「どうしてラオスっていうの?」など様々な質問が出されました。

7.9 横浜市立二俣川小学校



ニヤイさん、児童の歌に感涙

交流授業のあと、児童から『翼をください』の歌を贈られると、感動のあまり涙が止まらないニヤイさんでした。お礼に、ラオスの子ども達が作った手織りの作品を贈呈しました。

7.15 勝山市立成器西小学校



共卓小の話を熱心に聞く

出前授業は今回が2回目。

交流校の中中国・共卓小の写真や四川大地震の体験が綴られた手紙を紹介。限られた食べ物や水を大切にしていることや生活に必要なお手伝いをしていることに児童は深い関心を示していました。

6.25



静岡英和OG手作りの紙芝居

小山田小学校

静岡英和女学院高等学校OGの薩川美咲さん・竹下はるかさんが、手作りの紙芝居、写真を使ってカレン族の紹介の授業を開催。カレン族の村でのホームステーを通じて、現地で体験し感じたことを、直接小山田小の子どもたちに伝えました。

7.16 坂井市立平章小学校



初めての出前授業に集中

同校は谷川理事長の出身校。5年生を対象に、ベトナム・タンタイン小とのこれまでの交流をスライドで紹介すると、児童が2年生の時に送った絵手紙が映し出され、「これは僕が書いた」という歓声があがり、自分達の作品が実際に届いている実感をもってもらいました。

7.14 鮎江市立河和田小学校



谷川理事長に文具を託す

同校は、壁新聞やベトナムのおやつを作るなど積極的に取り組んでいます。交流校のフトゥー小の様子を、5年生を中心に紹介しました。

また福祉クラブが文房具を集めて贈呈いただきました。

12.12 坂井市立三国北小学校



ベトナムの民族衣装を紹介

9月に協定書に調印。交流が始まる第一歩として、全校生徒にコンダオ小の子どもたちの生活、学校の様子の紹介。

授業の終わりに、青木校長からコンダオ小の開校に寄せてのお祝いのメッセージと児童の描いた作品が託されました。

7.15 勝山市立村岡小学校



ベトナムからの壁新聞を紹介

3～6年生を対象に、交流校のベトナム・トゥオンロックB小から届いた壁新聞や自己紹介カードを紹介しながら、ベトナムという国や子ども達の生活についての授業を行いました。

●出前授業開催校一覧(2008.4～2008.12)●

月 日	学校名	月 日	学校名	月 日	学校名
4.22	福島県矢祭町立東館小	7.11	東京都江東区立毛利小	10.21	岡山県倉敷市立水島中
5.19	東京都武蔵村山市立第八小	7.11	東京都品川区立松島小	10.21	東京都町田市立小山田小
6.9	東京都武蔵村山市立第八小	7.14	福井県越前市立王子保小	10.22	岡山県倉敷市立旭丘小
6.24	さいたま市立植水小	7.14	福井県鯖江市立河和田小	10.22	横浜市立保土ヶ谷中
6.25	東京都町田市立小山田小	7.15	福井県勝山市立村岡小	10.22	東京都港区立赤羽小
6.26	東京都荒川区立第五峠田小	7.15	福井県勝山市立成器西小	10.23	東京都奥多摩町立古里小
6.27	東京都港区立赤羽小	7.16	福井県坂井市立長嶺小	10.23	奈良市立清美小(全校)
7.7	東京都武蔵村山市立第八小	7.16	福井県坂井市立平章小	10.23	奈良市立清美小(6年生)
7.7	静岡県函南町立桑村小	10.20	東京都中野区立向台小	10.24	東京都国立市立第七小
7.8	長野市立通明小	10.21	神奈川県相模原市立藤野南小	10.24	東京都品川区立立会小
7.9	横浜市立二俣川小	10.21	岡山県倉敷市立玉島南小	12.12	福井県坂井市立三国北小
7.10	東京都目黒区立下目黒小	10.21	岡山県倉敷市立倉敷西小	12.15	静岡県函南町立桑村小

●2008.10.20~24 ● 特別国際授業・II 第3回AEFAフォーラム記念

10.23 東京都奥多摩町立古里小学校



ラオスについて説明



日本と違うラオス式割り算

ヴィラソーンさんは給食と一緒に食べたあと、ラオスの遊びを披露。子ども達と共に楽しめました。授業ではスライドでラオスの国やノンチュア小を紹介。交流授業後、5年生は総合の時間で食べ物や教科、家の手伝いをよくすることなど、日本とラオスの違いだけでなく、共通点について活発に意見を出し合いました。

10.24 東京都品川区立立会小学校



ダッカオに挑戦



タムホアから壁掛け

全生徒580名対象。全員参加できるよう対話が中心の授業になりました。質疑応答では、どんな遊びがあるか、どんなお手伝いをしているか、給食はあるかななど活発な質問が出ました。ベトナム語の練習、ダッカオの実演のあと、タムホア第2小からの壁掛けが贈呈されました。

10.24 東京都国立市立国立第七小学校



クイズに答える子どもたち



ベトナムのやじろべえに挑戦

対象の5年生は、授業の前に2時間、ベトナムについての調べ学習をしていたので、「牛はいくらで買えますか」など、ベトナムについて具体的な質問が飛び出し、授業も熱心に聞いていました。最後に、同校の校歌がホアンにプレゼントされました。

〈特別交流〉横浜市鶴見区橘幼稚園

園長先生、お母様方の要望で実施。熱烈な歓迎にヴィラソーンも感激。今後、バザーや募金等の活動を通して、「子ども達に学校に行けること、学べることの大切さを知ってもらいたい」。



お母様方に温かく迎えられて



子ども達にひっぱりだこ……

10.22 東京都港区立赤羽小学校



ファイコン小の映像に見る



タイの手作りおもちゃに興味津々

同校では2年生が中心となってタイ・ファイコン小学校と交流しています。今回は4年生の「世界を学ぶ」カリキュラムの一環として実施。ウドムさんからカレン族や子ども達の生活を紹介すると、質問コーナーでは活発な発言がありました。ウドムさんからカレン族の子ども達の手作りバッグを贈呈。



ヴィラソーンさん(ラオス)

NGO「V F I」で主に学校建設を担当し毎日のように村に行き指導。建設後も、学校を運営していく資金創出プロジェクトに熱心に取り組む。



ウドムさん(タイ)

タイ最大のNGO財団「R T F」の北タイ支部責任者として、農村開発、山岳民族開発事業、エイズ予防などを統括。学校事業の責任者としても活躍。



ホアンさん(ベトナム)

1998年よりNGOで学校建設・交流事業、車椅子配布プロジェクト等を担当。2006年よりNGO「SCC」の奨学部門マネージャーとして尽力。



ランさん(ベトナム)

NGO「Health Ed」でベトナム中部・南部の学校建設と交流事業を担当。建設管理、行政や教師達との話し合い、日本との交流に熱心に取り組む。

10.21 倉敷市立水島中学校



フレンドシップソングの練習



生徒代表から作品などの贈呈

最初に交流の歌『フレンドシップソング』の練習が行われ、生徒達がリラックスして授業に臨みました。交流先のベトナム・グエンティンカイ小学校の以前と今の様子、ベトナムの文化、子どもの生活や遊びについて紹介。水島中からは生徒の作品、ボールなどが贈呈されました。



スライドでベトナムの紹介



ダッカオにチャレンジ

10.20 東京都中野区立向台小学校

スライドでベトナム及び交流先のニヤックレオ小学校の新旧校舎、子ども達の生活や村の様子を紹介したあと、ランさんからベトナム語の練習やダッカオ(羽根蹴り)。手以外の体の部分を使う遊び)を披露しグループに分かれて実演。お別れにはランさんからベトナム人形が贈呈されました。

10.21 倉敷市立玉島南小学校



子ども達の興味津々の眼差し



お別の握手に長蛇の列

同校は07年1月、空き缶を集めたお金をラオス・ノンドン小学校に教科書と牛をプレゼント。ヴィラソーンさんから、スライドで「たまちゃん&しまちゃん」と名付けられた牛の元気な姿が紹介されると大歓声。児童代表から絵と新たに支援金が贈呈されました。

10.22 横浜市立保土ヶ谷中学校



新聞部の皆さんと



熱心に聞き入る保護者

新聞部を対象に実施。同校PTA会長の呼びかけで保護者多数も参加。ハンセン病の両親を多くもつティン・ウォン小との交流は、同校の人権学習に添うもの。保護者の方々も熱心で質問も活発でした。

ランさんよりベトナム人形が贈呈されました。

10.21 相模原市立藤野南小学校



ランさんによるベトナム語講座



タインタン小へ文具の贈呈

ベトナム現地を出張視察された遠田先生のクラスで実施。ランさんはベトナム語の練習に続いて、ダッカオを実演指導し子ども達も大喜び。

交流先のタインタン小学校へ児童代表から壁新聞や手紙等の交流作品が託され、文具が贈呈されました。

10.23 奈良市立済美小学校



まず児童から歌のプレゼント



スライドでベトナムの紹介

対象を1時間目は全生徒に、2時間目は6年生を対象とする2コマ授業が行われました。ホアンさんから「生活は貧しいけれど、今を一生懸命に生きている。そして一番望んでいることは日本のみんなと友達になりたいということです」とメッセージが伝えられました。

10.21 東京都町田市立小山田小学校



ウドムさんの説明



カレン族のおもちゃを紹介

タイ・カレン族の生活・文化について子ども達の学校生活をスライドで紹介。学校で自炊する子、最大30km先から通う子…。そこでたくましく生活している映像に児童たちは見入っていました。カレン族のおもちゃを紹介後、ウドムさんよりカレン族の子ども達の手作りバッグがプレゼントされました。



興味津々に話を聞く児童



ベトナムのゴム飛びの紹介

同校とパカン小の交流は3年目。パカン小の建設担当だったホアンさんから、ベトナムの子どもの生活、遊びについてクイズを取り入れて紹介。子ども達もホアンさんの質問に積極的に答えたり、ジェスチャークイズも楽しんで参加していました。

第1回「AEFA交流大賞」発表

2008年度 フレンドシップ交流

第1回『AEFA交流大賞』決定！



次点
ベトナム／ティン・トゥオン小学校(壁新聞)



大賞
武蔵村山市立第八小学校(絵手紙)

『第1回AEFA交流大賞』がAEFAフォーラムで決定しました。フレンドシップ校の先生方、教育関係者、AEFA友の会会員など参加者78名の方々の投票により、武蔵村山市立第八小学校の絵手紙が大賞に選ばされました。

ラオスのかぼちゃを育てる『かぼちゃプロジェクト』、その生育の様子やラオスから届いた生活の道具などが絵手紙に描かれています。

次点には、ベトナム／ティン・トゥオン小学校の壁新聞が選ばされました。先生への尊敬、先生から受ける愛情を表現している作品です。他にも4ヵ国・19点の作品・交流活動が『AEFA交流賞』として賞され、表彰状が各校に贈られました。

〈交流賞〉

日本賞

鰐江市立河和田小(壁新聞)
武蔵村山市立第八小(絵手紙)

目黒区立下目黒小(壁新聞)

奈良市立洛美小(絵)

ベトナム賞

ホンティエン小(絵)
アン・ルオン・ドン小(絵・壁新聞)

ティン・トゥオン小(壁新聞)

タムホア第2小(壁新聞)

ラオス賞

パチュドン小(絵)
ドンニヤイ小(手紙)
ドンルアン小(絵)

タイ賞

サムソップ小(絵・工作)

活動賞

町田市立小山田小(手作り竹炭で支援)
坂井市立平章小/坂井市立長畠小(あたたかな贈り物)

品川区立松小(ぎんなん募金)

倉敷市立玉島南小(空き缶集め、牛の購入)

交流アイデア賞

江戸川区立平井第2小(子ども親善大使活動ノート)

教材賞

静岡英和女学院高等学校OG 薩川 美咲
(にほんのこども・カレンのこども どこがちがうかな?)

努力賞

マリアズ・ベビーズ・ソサエティー(壁新聞)

特別賞

女子美術大学付属高校(絵手紙)

ウィツツ青山学園高等学校 京都北LETS(切り絵)

ちくちくぬいぬいボランティア大募集!!



ラオス少数民族の手織り布を、あなたのセンスを活かして、コースター やエコバッグなどおしゃれに生まれ変わらせてください!

出来上がった作品は、バザー等で販売し、織り手(村の女性たち)に還元したり、村の学校で必要なものを買います。

手作りの紙芝居やカルタを英語で

☆倉敷市水島中&ベトナム/グエン・ティ・ミン・カイ小



生徒会のメンバーが中心となり、「さるかに合戦」の紙芝居や、かるたを英語で作成。教材に使って欲しいとアイディアと工夫を凝らして手作りしてくれました。また、募金活動を行い、ベトナムの友だちが楽しく遊べるように新品のボールをたくさん寄贈してくれました。

折り紙の折り方を紹介

☆港区赤羽小&タイ・ファイコン小



「国際科」の授業で、世界の様々な国について学んでいる2年生の子どもたちが、折り紙の折り方を紹介する作品を作りました。作品には自分たちの似顔絵も描きいれ、名前をローマ字で書きました。英語への翻訳に挑戦した子もいました。

日本の夏の思い出をラオスへ

☆福島県東館小&ラオス・ナトワール小



ラオス語の表記は、宍戸校長先生がラオス語を勉強して「夏の思い出」と記されています。

子どもたちの夏休みの思い出を描いた絵日記。スイカ割り、花火…と日本の夏の楽しい思い出を、ラオスの友だちに伝えました。

一人ひとり手作りカード

☆江戸川区平井第二小&ベトナム・クルーン小



ベトナムの友だち一人ひとりにあてた、世界にたった一つの手作りカード。「夏休みはすごく楽しく過ごせました。あなたはどうですか?おたがい勉強など頑張りましょう」。

交流3年。手紙を中国語で

☆倉敷市玉島東中&中国・阿央谷小



1年生の時から雲南省・阿央谷小学校と交流を続けてきた3年生の生徒が、中国に造詣の深い栗坂先生のご指導で中国語の手紙を書きました。

世界遺産の奈良から仏像の絵を

☆奈良市済美小&ベトナム/アン・ルオン・ドン小



世界遺産・奈良の子どもたちが、好きな仏像を筆で描きました。その仏像が好きな理由も付けられ、細かいところまでよく観察されており、繊細さと迫力をもってせまっています。

日本の秋をラオスへ

☆倉敷市玉島南小&ラオス・ノンドゥン小



「秋」をテーマに、コスモスや梨や栗などの日本美しいもの、美味しいものを絵手紙と俳句でラオスの友だちに伝えました。

20年間の海外交流経験を生かして

☆東京都女子美付属中高&タイ・ファイコン小



20年前から「生き方モデル」の授業で自らの生き方を見直すことをねらいとし、フランスとタンザニアの学校との文通活動を行ってきました。

タンザニアからは「愛とは、耐えることと、幸せ」という手紙が届き、感動した生徒たちは、「love is, _____ and _____」と同じように返信することに。“love is light and candle”など、文章とイラストの絵手紙でそれぞれの“愛”を表現しました。この経験をアジアとの交流に生かしたいと思います。

切り絵をアジアの学校で

☆京都府ウツツ青山学園高校京都北LET'S &ベトナム・ダックロガ小



生徒たちが切り絵の先生に教わりながら、日本の美しい四季折々の景色を、時間をかけて一生懸命作りあげました。いつかアジアの学校で、切り絵を子どもたちに教えた…という夢を持って、活動に取り組んでいます。交流校のダックロガ小からは、竹で編んだ背負いかごや民族衣装が贈られ、ベトナムの生活の息遣いが聞こえてくるようです。

ベトナムに自己紹介カード

☆島根県宇野小&ベトナム・マンリー小



全校生徒9人の小さな学校ですが、みんな元気いっぱいです。広い世界に触れよう…と、ベトナムとの交流が始まっています。ベトナムに贈られた自己紹介カードは、学校には樹齢100年の松の木があたり、近くの川ではサケが回帰するなど、豊かな自然に恵まれていることを教えてくれています。

壁新聞をラオスへ

☆目黒区下目黒小&ラオス・ブンナム小



「生き物」に興味いっぱいの4年生が、下目黒小を紹介した壁新聞を作り、訪問したラオスNGOスタッフに託しました。

作品を通して、改めて自分たちの学校を見直す機会にもなりました。

● ラオスの手織り布バザール ●

株式会社近江兄弟社様



横浜市鶴見区橋幼稚園様



ラオスを支援のため視察後、「第30回ニコニコバザー」で現地女性の手織り布を出品。地元や観光客に好評で完売し、売上金をAEFAを通して現地に寄付いただきました。



▲現地女性に手ほどきを受けて織物にチャレンジする同社河合総務係長。



文部科学省が海外の日本人学校に派遣される教師を対象とする「在外教育施設教員登録者研修会」に、谷川理事長が招かれ約1時間にわたって講演しました（平成20年8月1日）。講演の前半は、理事長自身の商社時代の経験から海外駐在における講演でした。

◆ 谷川理事長、文科省研修で講演

HP更新支援（株式会社上武様）
＊
「多忙な業務の合間にぬつて、AEFA広報の生命線ともいえるホームページの更新作業にご協力ください。提供いただいている上武様。ITのプロ集団ならではの確かな技術と知識を「お手伝いできるのが嬉しい」と、毎度快く提供いただいています。

アドバイスをエピソードを交えて行い、後半ではAEFA設立の契機や理念について語りました。設立の背景には、自身の子供の問題や教師の兄弟の悩みを見聞きし、日本の学校教育を憂う気持ちがあったことなど、教育への熱い思いを先生方に伝えました。講演後、文科省の職員の方から「感動した」等、共感の声が多数寄せられました。「感動した」とフィードバックが寄せられました。

主な掲載記事

掲載メディア	記事見出し	日付
東京新聞	武藏村山第八小・ラオスの小学校と交流	2008.5.26
東京新聞	カボチャ栽培で交流 武藏村山の小学校 ラオス人女性が来校	2008.7.8
伊豆日日新聞	ラオスってどんな国？ 函南農村小 NGO職員招き授業	2008.7.8
静岡新聞	ラオスの女性と交流 通明小5年生 篠ノ井LCの仲介で	2008.7.12
長野市民新聞	交易校のお国柄 王子保小児童学ぶ 越前市、NPOが授業	2008.7.16
福井新聞	学校で結ぶアジアの輪 NPO理事長・谷川さん 4カ国で建設 每校の平章で授業	2008.7.17
朝日新聞	アジアの学校、現状伝える NPOが小学生に授業	2008.7.17
日刊県民福井	貧困国の支援は恩返し 東京都 谷川洋さん	2008.7.20
福島民友	ラオスのナトゥール小学校で授業が実施 地域の小学校との連携交流、県内第1号	2008.9.25
山陽新聞	「東南アジアの学校生活紹介 玉島南小など国際授業」	2008.10.22
福井新聞	ベトナムの生活紹介 「アジアで学校建設NPO」出前授業	2008.12.13
朝日新聞	アジアに学校づくり NPO理事長 坂井で講演会	2008.12.14

AEFA活動のマスコミ紹介



発行30周年記念サイトのブログなどに掲載される予定です。
URL:www.arukikata.co.jp/30th/

◆あたたかな衣類がラオスへ
南国とはいえ乾季には冷え込むラオス山岳地帯の子ども達に、福井県坂井市平章小・長畠小・勝山市村岡小と地域のみなさまから集められた衣類千四百点が、法人友の会員の鈴与株式会社様の搬送ご協力により、パチュドン小・ブォンナム小・サボン小に届けられました。

AEFAと現地NGOスタッフ、先生方が、衣類を一人ひとりの身体に合わせて選び手渡しました。

綱引き競技、ラオスで大歓迎！

ラオスでは団体競技が少ないとから谷川理事長が発案し、日本綱引連盟様のご支援によりトンコー小はじめ4校で実施。どこでも大人気で、終わった後、「この綱を寄付して…」と文字通り“綱引き”的盛り上がりでした。



“ご支援の輪が広がっています”

AEFAの活動に対する支援は毎年、着実に広がっています。設立4年で学校建設、インフラ、ソフト、交流関係など、支援は計30件余、総額4,000万円を超えております。ありがとうございます。本年度もご期待に添えるよう頑張ってまいります。

支援事業に確信

～トンコー小学校に出席して～
長野篠ノ井ライオンズクラブ
会長 高橋 均

「学校は建設することが目的でなく、そこで子どもたちが勉強し続けることが重要です。トンコー村住民の熱意を感じて私たちはこの事業の成功を確信しました。子どもたちの届託の無い笑顔と清純な目の輝きに出会ったとき、私たちは心からこの事業をして良かったと思いました。」



児童にサッカーボールを手渡す高橋会長

お米・井戸支援が続々と



07年度のエーエンターテイメント様に続いて08年度はラッシュジャパン様よりお米（1万800kg）の支援をいただきました。「この地区（ラオス・パチュドン）は貧しく、たとえお金があっても、お米が足りないです。大切な主食であるお米は本当に有難いです（先生談）。」

また、多くの村では水道がなく、毎朝夕、川から水を運んでいましたが、宮本ゆり子様、ブロードウェイ様はじめ多くの方のご支援でその労苦が解消されただけでなく、学校菜園、農作業にも使われ生活改善に大変役立っています。

“ぼくらの村に学校ができた！”



ラオス南部ブオナム村は、土地が痩せ困窮度の高くこれまで学校がなかった地域です。AEFAは大阪コミュニティ財団様からの資金支援をいただき、この地域の基幹校として小学校を寄宿舎付きで建設、子ども達の笑顔とともに開校しました。来年度には中学校も新設される予定です。

なお、大阪コミュニティ財団様のご支援は07年度のクアンシー小学校に続き2校目となります。

●ご支援一覧(2005.1~2008.12)

支援者	支援先・内容
1.トレイダーズ証券株式会社様	ベトナム・フーカンB小学校 3教室・トイレ・図書室兼集会室
2.株式会社原田総合教育研究所グループ様	ベトナム・フートゥー小学校 3教室・トイレ
3.銀河ネットワークグループ様	ベトナム・タンホアA小学校 4教室・トイレ・図書室兼集会室
4.「アークー青い地球の子供たち」様	ベトナム・コンダオ小学校 4教室・トイレ・井戸
5.石原拓一郎様	ラオス・イルン小学校 3教室・トイレ・菜園・幼稚園遊具公園
6.石原拓一郎様	ラオス・ナトゥール小学校 3教室・トイレ・学校菜園
7.長野篠ノ井ライオンズクラブ様	ラオス・トンコー小学校 3教室・トイレ・井戸・スポーツコート
8.アジアの子供たちに学校をつくる議員の会様	タイ・ファイコン小学校 3教室・トイレ・水タンク(新設) &6教室・寄宿舎・食堂(修理)
9.財団法人大阪コミュニケーションズ	ラオス・クアンシー小学校 3教室・トイレ(一部支援)
10.財団法人大阪コミュニケーションズ	ラオス・ブオナム小学校 5教室・寄宿舎・トイレ(一部支援)
1.石原拓一郎様	ラオス・イルン小学校 貯水ダム及び水道システム建設
2.株式会社ランクス様及び芹澤英彦様	ラオス・ノンドン小学校 井戸
3.株式会社工房様	ラオス・ラオノン小学校 井戸
4.紺野真紀様	ラオス・クアンシー小学校 井戸
5.空に向いて歩こうプロジェクト様	ラオス・ノンチュア小学校 井戸
6.株式会社ブロードウェイ様	ラオス・ノントム小学校 井戸
7.宮本ゆり子様	ラオス・ナトゥール小学校 井戸
8.宮本ゆり子様	ラオス・イルン村 水道
1.株式会社工アーエンターテイメント様	ラオス・パチュドン小学校 給食食料及び地元出身大学生に奨学生
2.株式会社ラッシュジャパン様	ラオス・パチュドン小学校 給食米
3.銀河ネットワークグループ様	ベトナム・タンホアA小学校 奨学生(米・自転車・教科書・文具)
4.星田啓子様	タイ・ファイコン小学校 机・椅子・教科書
5.柏木白光様	ラオス・ナトゥール小学校 鐘
1.財団法人三菱UFJ国際財團様	ベトナム・ラオス・タイからN G Oスタッフ招聘(フォーラム・出前授業)
2.株式会社ダイヤモンド・ビッグ社様	タイ・メーマロー小学校の補助教師給与1年分
3.独立行政法人国際交流基金様	ラオスからN G Oスタッフ招聘(出前授業)
4.岩手県紫波町及び有志様	ベトナムから小学校校長・教育省担当官を日本に招聘(国際交流)
5.会員各位からの寄付金	フレンドシップ交流資金に充当
6.匿名希望(企業)様	ラオスにおける教師研修(2週間合宿)支援
7.匿名希望様	ラオス・パチュドン小学校/ボランティア教師2名の給与

A
E
F
A
往
來

ボランティアのみなさん

いつもご協力いただき、
ありがとうございます!!
吉田さくら：翻訳、翻訳チーム推進
横瀬 定且：映像編集、ITサポート等
小垣外明子：デザイン
榎 真美：翻訳
Dale Stromberg：翻訳
Le Thi Ngoc Anh：ベトナム文化
指導、翻訳
坂本 美幸：翻訳
中森 朋子：翻訳
小松 早苗：翻訳
高山 昌子：翻訳
鬼形 まり：翻訳
工藤 卓二：翻訳
Nguyen Nhen：翻訳

友の会新会員のご紹介

新会員のみなさんです。ありがとうございました。(08年5月以降／敬称略)	
<個人会員>20名	<賛助>
青木 隆男／石田さだ子／近江 豊	株式会社近江兄弟社
片山 明／川崎真紀子／神鳥 貞子	キリンアンドコミュニケーションズ株式会社
菊池 良一／工藤 卓二／杉本 熊野	木村 敬道
塙本 弘／出口貴美子／豊吉 晴子	金懇会
林 万喜子／廣部 武／松浦佐太雄	サロンドヒロコ
松田 陽子／松元 和敏／松元えり子	橘幼稚園
三上 正芳／森田 正美	阪神トラベルインターナショナル株式会社
<法人会員>	廣部 武
鈴与株式会社	松山 信裕
株式会社近江兄弟社	

友の会にご参加を

アジア教育友好協会では、アジアの子ども達に対する教育支援や、日本の子ども達との国際交流を支援してくださる会員の方を募集しています。

私たちちは各国のパートナーNGOと手を携えて活動しています。

《パートナーNGO》

- ラオス : Village Focus International / Laos
- ベトナム : Health and Education Volunteers
Saigon Children's Charity
- タイ : Raks Thai Foundation / Care Thailand
- 中国 : 日本・雲南聯誼協会

特定非営利活動法人 アジア教育友好協会 AEFA (エファ)
Asian Education and Friendship Association

日本財団
The Nippon Foundation
助成事業

本部：〒105-0014 東京都港区芝3-3-10 芝園オーシャンビル8F

TEL 03(6426)0720/FAX 03(6426)0721

Email : tokyo@nippon-aefa.org URL : <http://www.nippon-aefa.org> ブログ : <http://blog.canpan.info/aefa/>